

会 議 録

1 会議名

平成30年度第6回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

- (1) 地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直しについて（公開）
- (2) 平成31年度地域活動支援事業概要について（公開）
- (3) その他（公開）

○報告事項

- (1) 第2回牧区町内会長連絡会議の開催結果について（公開）
- (2) 灯の回廊「まき深山のともしび」の実施について（公開）
- (3) 連絡事項（公開）

3 開催日時

平成30年12月17日（月）午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者の氏名（敬称略）

- ・委員：丸山 進（会長）、西山新平（副会長）、飯田秀治、五十嵐正則、折笠弘志、
金井貞子、佐藤祐子、清水薫、中川よしえ、前山美智弘、渡辺喜一
- ・事務局：牧区総合事務所 山本所長、橋詰次長、宮腰グループ長、綿貫班長、近藤主任

8 発言の内容（要旨）

【橋詰次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山会長】

挨拶

【山本所長】

挨拶

【丸山会長】

会議録の確認：清水薫委員に依頼

協議事項（１）地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直しについて、関連があるため（２）平成３１年度地域活動支援事業概要について事務局から説明を願う。

【事務局】

説明

【丸山会長】

示された見直し案等は、３１年度中に議論することにし、３１年度の牧区の募集については、大きな変更は必要ないと考える。１月、２月で牧区募集要項を固めたい。

説明を受け何か質問はあるか。

【飯田委員】

全市的な見直しを行わないと、申請者は提案すれば補助金をもらえるという考えになっていたり、自治区によって追加募集が行われたり、何年も同じ団体が同じような内容で提案していたりするの、自主的な地域活動ではなくなっているように思う。

【山本所長】

２８の地域協議会で、総体的に同じ意見が出れば市の統一意見としてまとめるが、それ以外は各地域協議会の意見を尊重することになる。それぞれ地形も違い、状況もまちまちであり、各地域自治区の地域協議会に任せられている。しぼりを持たない考えでいるので、御意見については審査で対応することができる。

【丸山会長】

飯田委員が言うように、２年、３年と同じような内容で提案をしてくる団体があちこちで見受けられる。それが固定化してきつつある。それに対し事務局から説明があったように、同じ事業を連続して提案・採択する場合の採択の補助率を見直す案が示されているが、各地域協議会で協議し決めることができる。また、新規事業で提案する団体が少なくなってきたのが全市的にも見受けられるため、もう少し広く募集し、この事業の内容を地域の方に詳しく知ってもらえるように周知したり、女性の団体から積極的な申請があると良いと考える。

【山本所長】

資料２では、調査した結果として２９項目が検証の対象と洗い出しされた。そのうち１９項目が検証を実施することになった。３１年度にしっかり議論し皆様の意見をお聞きしたうえでまとめ、３２年度にその結果を反映していく。

【丸山会長】

ほかに意見はあるか。

【一同】

なし。

【丸山会長】次に（３）その他に入る。２点意見を伺いたい。

1点目、冬期間の地域協議会開始時刻について意見を伺いたい。通常とおりの18時30分開始で良いか、または30分早めて18時開始にするか、いかが。

【清水委員】

勤め人がいるため、早めることは難しいのではないかと。18時30分で良い。

【金井委員】

18時を希望する。

【前山委員】

18時30分で良い。

【丸山会長】

今後、天候により変更することも考えられるが、これまでどおり18時30分開始とする。

次に2点目、前回地域協議会で上越市教育委員会から「上越市の小中学校の現状と今後について」説明を受けた。12月13日、教育委員会から、牧小学校の保護者に向けた説明会を開催した。保護者からは、積極的な意見は出なかったが、板倉区内の小中学校で統合に向けた話し合いはどれくらいの時間を要したのかなどの質問があった。6年後には、牧小学校の全学年が複式学級となるデータが出ている。

地域協議会として今後どのように動いていくのが良いか協議が必要だと考える。委員の皆さんの意見を伺いたい。

【飯田委員】

保護者への説明があったそうであるが、上越市教育委員会としての総合的な計画はないのか。

【山本所長】

今後5年間に複式学級の発生が見込まれる学校を優先的に対象校として選定し、30年度中に当該校区の地域協議会、保護者、地域住民、学校職員、学校運営協議会、に説明を行うこととしている。現在、複式学級が見込まれる学校15校に説明に入っている。統合ではなく、小中学校の現状について説明を行っている。その15校以外については、31年度に状況説明を行う予定。あわせて、上越市立の小中学校適正配置基準について22年度に制定され8年が経過している。各学校の現状と配置基準について見直しを行い、改めて学校適正規模に関する市としての基本的な考え方を協議している。現段階で具体的に皆様方にお示しできる内容はない。

【飯田委員】

保護者に説明、学校運営協議会に説明、奥歯にもものが挟まっているような説明ばかりで、保護者からのことばを待っているような捉え方になってしまう。市として方向性のある程度説明すべきだと思う。

【山本所長】

適正配置基準の見直し、あるいは基本的な考え方を市として整理するにあたり、現地の皆様の声を聞き反映することになる。

【中川委員】

統合は強制ではないにしても、学校がなくなると、その地域が激減するのは目に見えている。若い人がいなくなる。市全体で減少を考えるのであれば、学校がどうあるべきかを、学校をなくさないでどう維持するべきかを先に考えるべきではないか。統合ありき

の話だと地域が疲弊し活力がなくなってしまう。保護者は、統合すれば交通費がかかる、学校が遠くなるなどの理由で転出してしまい悪循環となる。

【山本所長】

地域協議会として自主的審議事項に至っていないが、本日の学校の問題についての意見は教育委員会に伝える。

【佐藤委員】

スクールバスに一般の方が混乗して運営しているバス路線について、その地域に子供がいなくなったら、バスの運営ができなくなることを懸念している。スクールバスを維持していると、地方交付税などの財源措置がある。冬期間は別路線でもう一台使用するというのも地方交付税で一部みてるため市の財政的にも有利な方法である。そうといった意味でも若い人が住み続けてもらえるようなことを考える必要があるのではないか。

【丸山会長】

学校問題に突出しないで、如何にして学校を存続させるかという前向きな話し合いが必要という意見がでた。地域協議会としてその内容を協議することで良いか。

【一同】

よい。

【丸山会長】

次に、4の報告事項に移る。事務局説明を願う。

【事務局】

説明

【丸山会長】

何か質問はあるか。

【渡辺委員】

資料4にある、牧区生活環境協議会事務局はどういう組織なのか。

【宮腰グループ長】

牧区生活環境協議会事務局は、牧区総合事務所にある。町内会長連絡協議会の中に生活環境協議会がある。区内の環境美化、ごみの不法投棄の防止、あるいは、ごみの減量化など取り組みを行っている。不法投棄防止の看板が完成した。申し出があれば設置すると町内会長へ説明済み。

【西山副会長】

生活環境協議会の委員は町内会長か。

【宮腰グループ長】

そのとおり。

【丸山会長】

同じく資料4で農業委員会の農業経営状況の意向調査について、総務・地域振興グループから出ている書類か。

【橋詰次長】

総務・地域振興グループの業務の範ちゅうに農業委員会分室があるため、総務・地域振興グループからのお知らせとなる。実際は農業委員会からの調査となる。

【丸山会長】

次に、事務連絡について、事務局説明を願う。

【事務局】

配布物が2点ある。

- ・上越市創造行政研究センターニュースレター「創造行政No.42」
- ・男女共同参画推進センター「情報誌ウィズじょうえつ」

また、昨日開催の地域活動フォーラムの資料を欠席委員に配布する。

【丸山会長】

他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。